



©中江ゆたか

「まちびと」を最後までお読みいただきありがとうございます。秋月号はいかがでしたか？ たくさんの温かいメッセージに励まされ、この号も心を込めて作りました。編集部へ届いた沢山のご感想を、少しだけご紹介させていただきます。

読者からのお便り — From Readers

- リニューアル号とは知らず表紙の印象が余りにすきだったので思わず手に取りました。とても垢抜けていて、町田のイメージが変わりました。こんなに町田を愛している人が居るなんて！ 各々の記事の量もとても読みやすかったです。
(鶴間 澤木真紀子さん)
- 題字とイラストがとてもいいです。特に読み物内容が良くて、実際に大地沢やあいす工房に行ってみました。小野路の活動に興味湧き、私も何かに取り組みたい！ という意欲が湧いてきました。
(金井町 とりこさん)
- 新しい「まちびと」は写真が素晴らしいです。三橋国民さんの生き方に触れとても胸が熱くなりました。「町田の夏」というテーマで、町田の自然や素敵なスポットの紹介と共に、信念を持っていらっしゃる三橋さんを取り上げてくださったのは素晴らしいと思いました。
(成瀬が丘 大野和子さん)

- 驚くほど洗練されたと思います。紙質と表紙に惹かれ手に取ったところ、「まちびと」でした(笑)。表紙の写真、字体、構成などとてもセンスがいいと思います。また、最初のページをめくった時に、草原が広がっていて、「ここに行こう！」と思いました。他も行ったことのある場所ですが、写真のセンスが本当にいいので、また行きたくなります。The まち人の紹介も皆さんとても素敵な笑顔で写っていますね。
(中町 松井和美さん)
- 二つの「The まち人」の記事は街づくりの取り組み、地域の活性化等、将来の展望に向け、学ぶことの多い記事で心に残りました。
(三輪緑山 緑子さん)
- 市の広報誌と違った切り口が心地よい。爽やかだし、人がキラキラしている。町田ガンパッテルと友人が言ったが、他に市にいる私もそう思い刺激を受けた。
(日野市 端居さん)

編集部より — From Editor's Desk

今回、市内在住の写真家佐藤昭一さんと多賀谷哲也さん、藤井資也さんが綺麗なお写真を提供してくださいました。中垣ゆたかさんとカイルさんはまちカフィーにも登場します。皆さんに支えられている「まちびと」も協働の精神で、素敵な情報を発信していきたいと思えます。(K)

春の町田の魅力をたっぷりご紹介！

次号まちびと 2016春号は3月15日発行です

「まちびと」は、市民センターや図書館等の公共施設窓口のほか、市内の郵便局・農協の各支店・病院や美容院・スーパー等、約600箇所にて設置しています。また、町田市役所2階、市民協働推進課 おうえん広場内の「NPO・地域活動情報コーナー」では、最新号や在庫のあるバックナンバーもごさいます(市内での50部以上の設置場所も随時募集しています)。なお、町田市の公式ホームページでもPDF版と電子ブック版をご覧いただくことができます。

<http://www.city.machida.tokyo.jp/community/shimin/katsudou/machibito/>



カイルカードの マチダ・ダマシイ

町田在住のカナダ人タレントが綴る、「町田愛」たっぷりのコラムです

第2回
おいっ、お前はアメリカかよ！



PROFILE
カイル カード

町田市在住 カナダバンクーバー出身
「5時に夢中(東京MX)」、「ものまねグランプリ(日テレ)」、「七人のコント侍！(BSNHK)」の他、映画『永遠の0』『バンクーバーの朝日』など多数出演。パーソナルトレーニングジム「RIZAP」のCMではビフォーアフターで絞上げた肉体美を披露している。現在「エイエイGO！(NHK Eテレ)」に出演中。流暢な日本語、カナダユーモアを織り交ぜたトークで、俳優・モデル・MCなど幅広く活躍。特技はものまね、オペラ、ウェイトトレーニング

昔から僕はよく英語で声を掛けられます。不思議なことに、そのほとんどが町田周辺です。最も多いのは「Hey! Are you America?」です。本来は声をかけられてとても嬉しいのですが、「ここにはちょっとは微妙な問題があります……」。

第一に、外国人はみんなアメリカ人ではありません。第二に僕は国じゃありませんし。第三、「おい！」ってなんだ！「おい！」って、「おい！お前は米国かよ？」という風に聞こえちゃっているんです。そうなるともうあまり話す気にはなりません。ザンネー。

でも、大丈夫。少しだけ言葉の使い方を覚えればいんです。

まず、「アメリカ」を「アメリカン」に変えましょう。「アメリカ」は国名、「アメリカン」は米国人という意味ですね。もっと言えば最初からアメリカ人と決めつけずに単純に「どこから来ましたか？」と聞くのがスマートです。そして、「How」と呼びかけるような言葉ではなく「Hello」や「Pardon me」や「Excuse me」と、優しい言葉で始めると相手はびっくりせず気持ちよく話せるはずです。つまり、こういう風になります。「Excuse me? Where are you from?」

こうするだけで外国人とのコミュニケーション力は格段とアップし、ウケもよくなり、もし

かしたら友情も生まれるかもしれません。そしてもう一つ大事な事があります。よくあるパターンは、知っている限りの英語を立て続けに投げまくる— Michael Jackson! Baseball! Apple Pie! ……さらに私生活について延々と激しく質問して来るパターンも。「なんでいきなり知らない人に尋問されなきゃいけないのよ！？」となりますね。日本語と一緒に話さないとギブ・アンド・テイク。某英会

話学校の「決め手は対話力！」ではないですが、どの言語でも話してもキャッチボールをしないのでと会話として成り立たないのです。ちゃんと間を空けて相手の話をよく聞き、うまくコミュニケーションを取りましょう。

さあ、外国人に声を掛ける最強のチャレンジャー町田市民の皆さん、2020年東京オリンピックに向けて日本一外国人にウケがいい街を目指してみてはどうですか？